

6 参考資料（アンケート調査票）

1. 企業等

広島県 外国人材の雇用実態調査 調査票（企業向け）

＜貴社における外国人材の雇用状況について（令和元年8月1日現在）＞

問1 貴社で、これまでに外国人材（特別永住者を除く）を雇用したことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 現在、雇用している | ⇒ 問2へ |
| 2. 現在は雇用していないが、雇用したことがある | ⇒ 問4へ（P2） |
| 3. 雇用したことがない | ⇒ 問20へ（P6） |

問2～問3の設問は 問1で「1. 現在、雇用している」と回答した方にお伺いします

問2 現在、貴社で雇用している外国人材の雇用人数をお答えください。

まず、外国人材の雇用人数の合計をご記入いただき、1～2については、その内訳をそれぞれご記入ください（雇用していない場合は0とご記入ください）。

※①正社員及び②非正規社員の合計人数が、雇用している外国人材の合計人数と一致するようお願いします。

現在、貴事業所で雇用している外国人材の合計人数								人
内 訳	1. 雇用形態別							
	① 正社員（役員を含む）							人
	② 非正規社員（技能実習生含む）							人
	2. 出身国・地域／在留資格区分別							
		技能 実習	特定 技能	資格外 活動 *1	身分に 基づく 在留資格*2	専門的・ 技術的分野	特定 活動	合計
	ベトナム	人	人	人	人	人	人	人
	中国	人	人	人	人	人	人	人
	フィリピン	人	人	人	人	人	人	人
	インドネシア	人	人	人	人	人	人	人
	中南米	人	人	人	人	人	人	人
その他	人	人	人	人	人	人	人	
合計	人	人	人	人	人	人	人	
直近2～3年の増減（「増」「減」のうち該当に○をつけて、人数を記載ください。）							人	増 減

(*1) 資格外活動：留学生や家族滞在者のアルバイトなど

(*2) 身分に基づく在留資格：永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者

(*3) 在留資格の詳しい説明については、出入国在留管理庁のホームページを参照ください。

特定技能：http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri01_00127.html

その他の在留資格：<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/kanri/qaq5.html>

問3 現在、貴事業所で雇用している外国人材の職種をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 製造工	2. 営業・事務職	3. 介護・福祉職
4. IT技術職	5. 販売・接客職	6. 建設技能者・建設作業員
7. その他(具体的に: _____)		

問4～問17の設問は、問1で「1. 現在、雇用している」、「2. 現在は雇用していないが、雇用したことがある」と回答した方に伺います

問4 外国人材をはじめて雇用した時期をお答えください。(〇は1つ)

1. 平成21年以前	2. 平成22年～24年	3. 平成25年～27年
4. 平成28年～30年	5. 平成31年以降	

問5 外国人材を雇用しはじめた理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 日本人だけでは人材確保が困難	
2. 外国人材ならではの能力が必要になった(具体的に: _____)	
3. 能力・人物本位で雇用したら外国人だった	
4. 会社の国際化や多様化を進めたかった	
5. 海外進出・展開のため	6. 人件費コストの削減
7. その他(具体的に: _____)	

問6 外国人材の採用経路をお答えください。(〇はいくつでも)

1. ハローワーク	2. 自社で募集
3. 監理団体を利用	4. 監理団体以外の国内の支援機関を利用
5. 国内の民間職業紹介会社を利用	6. 海外の民間職業紹介会社や送り出し機関を利用
7. その他(具体的に: _____)	

問7 外国人材の技能・スキルについて

- ① 外国人材の技能・スキルを、一人前の技能・スキルを持った日本人従業員との比較でお答えください。
(〇は各項目につき1つ)

期待していたレベル	1. 5割以下	2. 7～8割程度	3. ほぼ同じ程度	4. それ以上
雇用開始時のレベル	1. 5割以下	2. 7～8割程度	3. ほぼ同じ程度	4. それ以上
帰国・退職時のレベル	1. 5割以下	2. 7～8割程度	3. ほぼ同じ程度	4. それ以上

- ② 期待していたレベルとの差を埋めるためにどのようなことをしましたか。(〇はいくつでも)

1. 社内での勉強会などの研修等	2. OJT
3. 経験や技能レベルを考慮した配置転換	
4. 社外や監理団体の研修への参加(具体的に: _____)	
5. その他(具体的に: _____)	

問8 日本人労働者と比べ、一人当たりの外国人材に対する研修や教育にどれだけの時間がかかりましたか。
(○は1つ)

1. 日本人よりも時間がかからなかった	2. 日本人と同様
3. 日本人労働者と比べ、やや時間がかかった	4. 日本人労働者と比べ、かなり時間がかかった

問9 外国人材を雇用するにあたって、事前準備として有効だと思うものを、就労環境と生活環境に分けてそれぞれお答えください。(○はいくつでも)

① 就労環境に関するもの	② 生活環境に関するもの
1. 外国人受入対応マニュアルの作成	1. 住まいの確保
2. 外国人の指導担当者の配置	2. 生活必需品(支給用)の購入
3. 業務マニュアルの外国語訳の作成	3. 生活ガイダンス
4. 業務マニュアルのイラスト版の作成	4. 行政手続きの支援(住民登録等)
5. 日本人従業員への研修(外国語、異文化)	5. 日本語教室の紹介、日本語習得の支援
6. その他(具体的に:)	6. 文化や考え方の違いを理解する
7. 特にない	7. その他(具体的に:)
	8. 特にない

問10 外国人の雇用にあたっての相談先は、どこが多いですか。(○は3つまで)

1. 入出国在留管理局	2. 労働局(厚生労働省)	3. 他の国の行政機関
4. 地方公共団体(県・市町)	5. 金融機関	6. 商工会議所・商工会
7. 他の産業支援機関	8. 他の経営者・他社など	9. 行政書士
10. 他の専門家(具体的に:)		
11. 相談先がない	12. 相談する必要がない	

<外国人材の受入に関する課題について>

問11 就労環境に関する課題について

① 外国人材を雇用する中で、職場での課題はありますか。(○は3つまで)

1. コミュニケーションがとりづらい	2. 日本人従業員とのトラブル
3. 外国人従業員同士のトラブル	4. 職場の中での孤立
5. 研修や教育などの負担が大きい(具体的に:)	
6. 自己都合での退職(帰国)が多い	7. 通勤手段の確保が負担
8. 思ったよりコストがかかる (具体的に: a. 給与等待遇コスト b. 研修コスト c. 指導者配置コスト d. その他:)	
9. 監理団体・支援機関からの支援・指導が不十分	
10. その他(具体的に:)	
11. 特になし	

- ② 前ページの問11-①で、「1. コミュニケーションがとりづらい」と回答した方に伺います。
具体的にどのような場面でそれを感じますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. 一般的な業務連絡(朝礼、予定の伝達、集合場所・時間の指示など) | |
| 2. 専門用語や技術用語を用いた個別作業の指示・指導 | |
| 3. 質問や相談など受ける時 | 4. その他(具体的に:) |

上記②の原因について、考えられることがあれば、自由にご記入ください。

--

問12 生活支援上の課題について

- ① 外国人材を雇用する中で、生活支援上の課題はありますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|------------------------|
| 1. コミュニケーションがとりづらい | 2. 地域社会(住民)から理解を得るのが大変 |
| 3. 住まいの確保が負担 | |
| 4. 生活トラブルへの対応が負担
(具体的に: a. けんか b. ゴミ出し c. 騒音 d. その他:) | |
| 5. けがや病気の時の対応が負担 | 6. 災害の時の対応が負担 |
| 7. その他の非常時等の対応が負担 (具体的に:) | |
| 8. 思ったよりコストがかかる
(具体的に: a. 住宅確保 b. 生活指導者配置コスト c. その他) | |
| 9. その他(具体的に:) | |
| 10. 特になし | |

- ② 上記「問12-①」で、「1. コミュニケーションがとりづらい」と回答した方に伺います。
具体的な場面やその原因について考えられることがあれば、自由にご記入ください。

--

- 問13 貴事業者の外国人材からクレームや不満を受けたことや、人づてに聞いたことはありますか。
(〇は3つまで)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 日本人従業員との待遇(賃金や昇進スピードなど)の違いに対する不満 | |
| 2. 労働時間に対する不満
(具体的に: a. 残業などが多い b. より多くの仕事がしたい c. その他:) | |
| 3. 通勤が不便 | 4. 住環境の悪さ |
| 5. 社内での孤立 | 6. 地域での孤立 |
| 7. 在留資格制度に対する不満
(具体的に: a. 在留期間の短さ b. 家族帯同ができない c. その他:) | |

問 14 問 11 から問 13 の課題を解決するために、とっている（とった）対策はありますか。

（○はいくつでも）

1. 給料等待遇面について、外国人材の母語などで丁寧に説明する	
2. 会社負担で通勤の送迎を行う	
3. 地域の日本語教室に参加させる	4. 日本語習得に関する講習を社内で実施する
5. メンター（指導社員）の配置	6. 技能に関する研修会を社内で実施する
7. 社内での交流会を実施する	8. 地域のお祭りなどのイベントへ参加させる
9. その他（具体的に： _____）	
10. 特になし	

問 15 外国人材 1 人あたりの月額賃金と、それ以外の費用についてお答えください。

※ 多様な雇用形態にて複数人数を雇用している（いた）場合は、最も外国人材の多い職種の平均的費用についてお答えください。

①【賃金月額】 ※額面（税込）で（諸手当，残業含む） （○は 1 つ）

1. 15 万円未満	2. 15 万円以上～20 万円未満
3. 20 万円以上～25 万円未満	4. 25 万円以上～30 万円未満
5. 30 万円以上	

②【雇用初期にかかった費用】 ※渡航費、健康診断、ビザ申請など （○は 1 つ）

1. 30 万円未満	2. 30 万円以上～50 万円未満
3. 50 万円以上～70 万円未満	4. 70 万円以上～100 万円未満
5. 100 万円以上	

③【ひと月ごとにかかる費用】 ※各種保険、日本語学習、住宅補助など （○は 1 つ）

1. 5 万円未満	2. 5 万円以上～10 万円未満
3. 10 万円以上～20 万円未満	4. 20 万円以上～30 万円未満
5. 30 万円以上	

問 16 上記「問 15」で回答いただいた金額について、外国人材を雇用する際にかかるすべての費用を考えたとき、同様の業務をする日本人を雇用する際の費用と比べていかがですか。（○は 1 つ）

1. 日本人よりも安い	2. 日本人よりも高い	3. ほぼ同じ
-------------	-------------	---------

問 17 現在雇用している（または、これまで雇用した）外国人材に対する評価を、下記の①～③の項目ごとにお答えください。（○は各項目につき 1 つ）

① 仕事に対する姿勢	1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5 不満
② 技能向上の速度	1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5 不満
③ 社内での協調性	1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5 不満

<今後の外国人材の雇用の方向性について>

問1で「1. 現在、雇用している」と回答した方に伺います

問18 今後の外国人材の雇用人数について、どのような方針ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 現在よりも人数を増やして雇用を継続したい | ⇒ 問19へ |
| 2. 現在と同じ人数を雇用して継続したい | ⇒ 問19へ |
| 3. 現在よりも人数を減らして雇用を継続したい | ⇒ 問22へ |
| 4. 雇用を中止したい | ⇒ 問24へ |
| 5. その他(具体的に: _____) | ⇒ 問26へ |

問19 今後雇用する外国人材の出身国については、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|--|---------------------|
| 1. 現在雇用している人材と同じ出身国の方を雇用したい | |
| 2. 特定の国の人材を雇用したい
(出身国(いくつでも): ①ベトナム ②中国 ③フィリピン ④インドネシア ⑤その他: _____) | |
| 3. 特に出身国にこだわりはない | 4. その他(具体的に: _____) |

⇒ ご回答後、問22へ

問1で「2. 現在は雇用していないが、雇用したことがある」、または「3. 雇用したことがない」と回答した方に伺います

問20 現在、外国人材を雇用していない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 日本人で人材確保できる | 2. 言語等のコミュニケーションに懸念がある |
| 3. 採用の仕方がわからない | 4. 自社従業員と良い関係が築けない |
| 5. 費用対効果が合わない | 6. 文化・生活習慣の違いが大きすぎる |
| 7. 研修・教育に時間がかかる | 8. 社内体制を整備・維持していくのが困難 |
| 9. 行政手続き(在留資格・認定など)が煩雑 | 10. 定着しない |
| 11. 在留期間に制限がある | |
| 12. その他(具体的に: _____) |) |

問21 今後の外国人材の雇用について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 雇用する計画が既にある | ⇒ 問22へ |
| 2. 良い人材がいれば雇用してもよい | ⇒ 問22へ |
| 3. 日本人を雇用できない場合は雇用してもよい | ⇒ 問22へ |
| 4. 雇用する予定はない | ⇒ 問25へ |
| 5. その他(具体的に: _____) | ⇒ 問26へ |

問 18 もしくは問 21 で「1～3」と回答した方に伺います

問 22 外国人材を雇用するとした場合、どのような人材を希望しますか。(○は2つまで)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 経営管理を行う管理職 | 2. 高度な技術を有する専門職層(留学生新卒含む) |
| 3. 技能実習生 | 4. 特定技能1号(一定の日本語能力、技術力) |
| 5. 留学生アルバイト | 6. その他(具体的に:) |

問 23 今後雇用する外国人材の雇用期間については、どのような希望がありますか。法的な制約は考えずに、お答えください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|-----------|-----------|
| 1. 「1年以内」 | 2. 「3年以内」 | 3. 「5年以内」 |
| 4. 可能な限り長く(期間を定めない) | | |
| 5. その他(具体的に:) | | |

⇒ ご回答後、問 26 へ

問 18 で、現在外国人材を雇用しているが、「4. 雇用を中止したい」と回答した方に伺います

問 24 外国人材の雇用を中止されたい理由についてお答えください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 日本人で人材確保できる | 2. 言語等のコミュニケーションが困難 |
| 3. 日本人労働者と良い関係が築けない | 4. 問題行動が多い |
| 5. 費用対効果が合わない | 6. 研修・教育に時間がかかる |
| 7. 社内体制を整備・維持していくのが困難 | 8. 行政手続き(在留資格・認定等)が煩雑 |
| 9. 定着しない | 10. 在留期間に制限がある |
| 11. その他(具体的に:) | |

⇒ ご回答後、問 26 へ

問 21 で、現在外国人材を雇用しておらず、今後の予定について「4. 雇用する予定はない」と回答した方に伺います

問 25 外国人材を雇用する予定もしくは計画がない理由についてお答えください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 言語等コミュニケーションに懸念がある | 2. 制度的に対象業種・職種となっていない |
| 3. 受入制度が複雑でよく分からない | 4. 従業員の理解が得られない |
| 5. 社内の受入体制が整っていない | 6. 人材育成・業務指導のノウハウがない |
| 7. 外国人材の採用方法がわからない | 8. 住まいの確保が困難である |
| 9. 在留期間が短すぎる | 10. 必要性を感じない |
| 11. その他(具体的に:) | |

全ての方に伺います

問 26 外国人材の採用活動の際の課題についてお答えください。(○は3つまで)

※外国人材を受け入れていない事業所においては、仮に雇用するとなった際、課題になると考えられる点をお選びください。

1. どこに相談をすればよいか分からない	2. 相談窓口が遠方で不便
3. 制度の理解・手続きの負担が大きい	4. 採用するためのコストが予想より大きい
5. 外国語への対応に苦慮する	6. 良い人を選ぶポイントが分からない
7. 紹介を依頼しても応募がない	8. 信頼できる紹介を依頼する先がない
9. その他(具体的に: _____)	
10. 特になし	

<外国人材の在留資格について>

問 27 入管法が改正され、平成 31 年 4 月から在留資格に「特定技能」が新設されましたが、既存の在留資格も含めて、内容についての知識の有無と今後の活用規模についてお答えください。(○は各項目 1つ)

在留資格	在留資格について	今後の活用
技能実習	1. 知っている 2. 知らない	1. 活用したい 2. 活用の予定はない
特定技能	1. 知っている 2. 知らない	1. 活用したい 2. 活用の予定はない
専門的・技術的分野	1. 知っている 2. 知らない	1. 活用したい 2. 活用の予定はない
身分に基づく在留資格	1. 知っている 2. 知らない	1. 活用したい 2. 活用の予定はない
特定活動	1. 知っている 2. 知らない	1. 活用したい 2. 活用の予定はない
資格外活動	1. 知っている 2. 知らない	1. 活用したい 2. 活用の予定はない

(注) 在留資格の詳しい説明については、出入国在留管理庁のホームページを参照ください。

特定技能: http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri01_00127.html

その他の在留資格: <http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/kanri/qaq5.html>

問 28 特に、「技能実習」について、メリット・デメリットとを感じる点について、お答えください。

① メリット	
② デメリット	

問 29 特に、「特定技能」について、メリット・デメリットとを感じる点について、お答えください。

① メリット	
② デメリット	

問 30 他の在留資格について、メリット・デメリットとを感じる点があれば、お答えください。

在留資格の種類	a. 専門的・技術的分野 b. 身分に基づく在留資格 c. 特定活動 d. 資格外活動
① メリット	
② デメリット	

<外国人材受入企業に対する支援について>

問 31 外国人材の雇用について、行政（国・県・市町）からの支援に関して改善を希望することはありますか。（〇は3つまで）

	項目	具体的に記入ください
制 度	1. 外国人材雇用に係る制度の情報提供	
	2. 外国人材雇用に係る手続きの簡素化	
	3. 技能実習制度の改善等（2号移行の対象職種の拡大を含む）	
	4. 特定技能制度の改善等（対象業種の拡大を含む）	
	5. 上記「3」「4」以外の在留資格の受入範囲の拡大や新設	
受 入 実 務	6. 外国人材雇用に関する企業向け相談窓口の設置	
	7. 他事業所の外国人材の活用に関する優良事例の提供	
	8. 外国人材とのマッチングの支援	
	9. 外国人材向けの相談窓口の充実	
	10. 日本語習得教育等の支援	
	11. 社内の受入担当者の育成やノウハウの蓄積に対する支援	
	12. 住まいの確保に対する支援	
	13. 地域社会との交流・共生に向けた支援	
	14. けが・病気の際の受入企業に対する支援	
	15. 災害の際の受入企業に対する支援	
	16. その他	

問 32 外国人材の活用について、ご意見、ご要望、ご提案などがありましたら自由にご記入ください。

<貴社について>

問 33 従業員数（正社員・常用パートのみ）について、ご記入ください。

従業員数（正社員・常用パートのみ）	正社員	人	常用パート	人
-------------------	-----	---	-------	---

問 34 ここ 5 年程度における、従業員数の変化についてお答えください。（○は 1 つ）

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 増員を行っている | 2. 横ばいである | 3. 減少している |
|-------------|-----------|-----------|

問 35 従業員の充足状況等についてお答えください。

① 充足状況（○は 1 つ）

- | | | | | |
|----------|------------|----------|-------------|-----------|
| 1. 過剰である | 2. やや過剰である | 3. 適正である | 4. やや不足している | 5. 不足している |
|----------|------------|----------|-------------|-----------|

② 上記①で 1、2、4 又は 5 と回答した方は、その過不足の人数をお答えください。（○は 1 つ）

- | | | | |
|------------|-------------------|--------------------|-------------|
| 1. 「5 人未満」 | 2. 「5 人以上 10 人未満」 | 3. 「10 人以上 15 人未満」 | 4. 「15 人以上」 |
|------------|-------------------|--------------------|-------------|

③ 上記①で 1、2、4 又は 5 と回答した方は、その職種についてお答えください。（○はいくつでも）

- | | | |
|---------------------|-----------|----------------|
| 1. 製造工 | 2. 営業・事務職 | 3. 介護・福祉職 |
| 4. IT 技術職 | 5. 販売・接客職 | 6. 建設技能者・建設作業員 |
| 7. その他（具体的に： _____） | | |

問 36 貴社の海外拠点の有無と、帰国後の外国人材の雇用方針についてお答えください。（○は 1 つ）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 海外拠点を有しており、帰国後の外国人材を雇用している |
| 2. 海外拠点を有しているが、帰国後の外国人材は雇用していない |
| 3. 海外拠点を有していない |

問 37 貴社の業種についてお答えください。

※複数の業種にまたがる場合、外国人材を受け入れている場合は外国人材の人数が最も多い業種を、外国人材を受け入れていない場合は、売上高で最も大きな割合を占める業種をお選びください。

（○は 1 つ）

	1. 農業	2. 漁業	3. 建設業	
製 造 業	4. 飲食料品製造業	5. 繊維工業	6. プラスチック製品製造業	7. ゴム製品工業
	8. 素形材産業	9. 産業機械製造業	10. 電気電子情報関連産業	11. 自動車関連産業
	12. 造船・船用工業	13. その他製造業		
	14. 卸・小売業	15. 宿泊業	16. 外食業	
	17. 介護	18. その他医療・福祉		
	19. 自動車整備業	20. ビルクリーニング	21. 航空業	22. その他サービス業
	23. その他			

○ 貴事業所について、お答えください。

企業・団体名		
事業所名		
所在地 (市町名のみ)	広島県	市・町

○ 最後に、ご記入者様についてお尋ねします。

所属・部署名	
役職	
氏名	
電話番号	
メールアドレス	@

- (1) ご回答いただいた内容については、広島県における外国人材活用に関する施策を検討するための資料としてのみ利用し、それ以外での利用及び第三者への提供は行いません。
- (2) 本調査の結果は、統計的に処理した集計結果のみを公表し、個別の回答内容について一切公表しません。

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

2. 監理団体等

広島県 外国人材の雇用実態調査 調査票

(技能実習の監理団体・特定技能の登録支援機関向け)

<外国人材のマッチング状況について>

問1 ここ2～3年の、企業からの外国人材受入ニーズの状況（問合せや受入希望が増えているかなど）は
いかがでしょうか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|--------|-----------|
| 1. 増加している | 2. 横ばい | 3. 減少している |
|-----------|--------|-----------|

問2 ここ数年の、日本での就労を希望する外国人材の状況はいかがでしょうか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|--------|-----------|
| 1. 増加している | 2. 横ばい | 3. 減少している |
|-----------|--------|-----------|

問3 外国人材に関する、事前面接等の手法として 主に 採用しているものについてお教えてください。
（○は1つ）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 現地で直接対面しての面接 | 2. インターネット上での面接 |
| 3. 電話での面接 | 4. 書類審査の実施 |
| 5. 自団体の関連団体による面接 | |
| 6. その他（具体的に： _____） | |

問4 受入企業の提示する外国人材への報酬についてお教えてください。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 日本人労働者と同程度 | 2. 日本人労働者よりも高額 |
| 3. 日本人労働者よりも低い | |
| 4. その他（具体的に： _____） | |

問5 貴団体において支援した企業が外国人材を受入れる 主な理由をわかる範囲でお教えてください。
（○は3つまで）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 日本人だけでは人材確保が困難 | 2. 外国人材ならではの能力が必要であった |
| 3. 会社の国際化や多様化のため | 4. 海外進出・展開のため |
| 5. 人件費コストの削減 | |
| 6. その他（具体的に： _____） | |

問6 人材マッチングの際に、受入企業とのトラブルにはどのようなものがありましたか。

(○はいくつでも)

1. 人材（技術・言語等）への過度な要望	
2. 費用負担でのトラブル（具体的に： _____)	
3. 外国人材の労働条件や受入条件の不一致	4. 受入企業が希望する人数を確保できなかった
5. その他（具体的に： _____)	

問7 上記の「問6」のトラブルの解決方法をお教えてください。

具体的に：

問8 貴団体において支援した企業が外国人材を受入れる際、困っていること、課題についてわかる範囲でお教えてください。(○は「① 就労環境」、「② 生活支援」それぞれ3つまで)

① 就 労 環 境	1. コミュニケーションがとりづらい	2. 日本人従業員とのトラブル	
	3. 外国人従業員同士のトラブル	4. 職場の中での孤立	
	5. 研修や教育などの負担が大きい（具体的に： _____)		
	6. 自己都合での退職（帰国）が多い	7. 通勤手段の確保が負担	
	8. 思ったよりコストがかかる （具体的に： a. 給与等待遇コスト b. 研修コスト c. 指導者配置コスト d. その他： _____)		
	9. 監理団体・支援機関からの支援・指導が不十分		
	10. その他（具体的に： _____)		
	11. 特になし		
	② 生 活 支 援	1. コミュニケーションがとりづらい	2. 地域社会（住民）から理解を得るのが大変
		3. 住まいの確保が負担	
		4. 生活トラブルへの対応が負担 （具体的に： a. けんか b. ゴミ出し c. 騒音 d. その他： _____)	
5. けがや病気の時の対応が負担		6. 災害の時の対応が負担	
7. その他の非常時等の対応が負担（具体的に： _____)			
8. 思ったよりコストがかかる （具体的に： a. 住宅確保 b. 生活指導者配置コスト c. その他： _____)			
9. その他（具体的に： _____)			
10. 特になし			

問9 上記の「問8」の課題に対して支援を行っていることがあればお教えてください。

具体的に：

<受入期間中の支援状況について>

問10 受入企業に対し、貴団体が行っている支援についてお教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 外国人材受入のための研修の実施 | 2. 外国人材受入のためのマニュアルの作成・提供 |
| 3. 受入企業が行う、日本語研修の実施支援 | 4. 受入企業が行う、地域交流会の実施支援 |
| 5. その他(具体的に: _____) | |

問11 受入企業に対する指導や支援の頻度は、どの程度でしょうか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 「月1回以上」 | 2. 「隔月～3ヶ月に1回」 |
| 3. 「4ヶ月に1回未満」 | 4. その他(具体的に: _____) |

問12 外国人材に対し行っている講習等支援についてお教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 従事業務に関する技能講習 | 2. 日本語に関する講習 |
| 3. 技能実習評価試験に関する講習 | 4. ビジネスマナー講習 |
| 5. 文化・生活ルールに関する講習 | |
| 6. その他(具体的に: _____) | |

問13 上記の「問12」で回答いただいた講習は、自団体内で実施しているものでしょうか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. すべて自団体で実施している | 2. 一部を外部委託している |
| 3. すべてを外部委託している | |
| 4. その他(具体的に: _____) | |

問14 受入企業・外国人材間での、受入期間中の主なトラブルや苦慮していることについてお教えてください。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 外国人材との意思疎通が困難 | 2. 外国人材が従業員となじめない |
| 3. 外国人材が行う業務が事前の説明と異なる | 4. 外国人材への報酬が事前の説明と異なる |
| 5. 外国人材の技能が想定よりも低い | 6. 外国人材が地域での生活になじめない |
| 7. 外国人材が指示に従わない(研修に参加しないなど) | |
| 8. 特になし | |
| 9. その他(具体的に: _____) | |

問15 外国人材から受ける相談について、主な相談内容をお教えてください。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 自身の健康・医療に関すること | 2. 業務内容に関すること |
| 3. 労働時間に関すること (具体的に: _____) | |
| 4. 賃金・手当に関すること | 5. 職場での人間関係に関すること |
| 6. 今後のキャリアに関すること | 7. 言語の問題に関すること |
| 8. 文化・生活に関すること | 9. 特になし |
| 10. その他(具体的に: _____) | |

問 16 外国人材から実際に相談がある頻度についてはいかがですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|-----------|--------------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週に1～2回 | 3. 月に1～2回 |
| 4. 半年に1～2回 | 5. 年に1～2回 | 6. 相談はほとんどない |
| 7. その他(具体的に:) | | |

問 17 【上記の「問 16」で「1～3」と回答した方に伺います。】

外国人材からの相談は、どのような方法を使って連絡がありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|-------|-------------|
| 1. メール/SNS/インターネット等 | 2. 電話 | 3. 定期的な面談の際 |
| 4. その他(具体的に:) | | |

問 18 外国人材からの相談を受ける際、対応可能な外国語についてご回答ください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------|--------|----------|----------|
| 1. 英語 | 2. 中国語 | 3. ベトナム語 | 4. タガログ語 |
| 5. その他(具体的に:) | | | |

<受入期間終了後の支援状況について>

問 19 外国人材の帰国後のフォローについては、どういった対応をされていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 帰国後の就職あっせん・支援を実施している | 2. 帰国後の状況のみ把握している |
| 3. 帰国後の状況は把握していない | |
| 4. その他(具体的に:) | |

<受入企業への支援全般について>

問 20 受入企業への支援において困っていることがあれば、お教えてください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 企業側が望む能力に適合する人材が乏しい |
| 2. 支援を行っても、計画どおり修了しない外国人材が多い |
| 3. コミュニケーション能力向上のための効果的な支援策がない |
| 4. 企業側が外国人材の文化的背景等を理解する姿勢に乏しい |
| 5. 実習計画認定や在留資格申請の行政手続の業務量が過大 |
| 6. その他(具体的に:) |

問 21 **技能実習制度**のメリット・デメリットと認識していること、改善すべき点を、お教えてください。

メリット:

デメリット:

改善すべき点:

問 22 **特定技能制度**のメリット・デメリットと認識していること、改善すべき点を、お教えてください。

メリット：

デメリット：

改善すべき点：

問 23 貴団体の支援実績のうち、成功事例をその理由とともに教えてください。

成功事例：（人材、企業、企業への影響）

理由：（企業の活性化、人材確保、業績向上など）

<送出国での活動状況について>

問 24 現地機関と契約締結や提携等をしている送出国をお教えてください。（○はいくつでも）

- | | | | |
|--------------|----------------------|-------|----------|
| 1. 中国（香港等含む） | 2. 韓国 | 3. 台湾 | 4. フィリピン |
| 5. ベトナム | 6. インドネシア | 7. タイ | 8. ネパール |
| 9. ミャンマー | 10. その他（具体的に： _____） | | |

問 25 現地機関と契約締結や提携等をしている各国の送り出しの状況はいかがでしょう。

（複数の国の送り出し機関と契約や提携等している場合は、最も受入数が多い国）（○は1つ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 送り出しに積極的で、規制も緩やか | 2. 送り出しに消極的だが、規制が緩やか |
| 3. 送り出しに積極的だが、規制が厳しい | 4. 送り出しに消極的で、規制も厳しい |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

<今後の展開について>

問 26 貴団体において、「特定技能」制度における登録支援機関として業務展開する計画はありますか。

（○は1つ）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 計画がある | 2. 既に業務展開を行っている |
| 3. 検討中である | 4. 予定していない |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

問 27 【上記「問 26」で、「計画がある」と回答した方に伺います】

事業開始時期は、いつ頃を予定していますか。（○は1つ）

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| 1. 半年以内 | 2. 半年より先～1年以内 | 3. 1年より先 |
|---------|---------------|----------|

問 28 現在かわりのある受入企業に対して、「特定技能」制度に関する周知・案内を行っていますか。
(○は1つ)

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問 29 外国人材の受入が今後進んでいくことが想定されますが、貴団体での支援における懸念事項を可能な範囲でお教えてください。

<外国人材受入企業に対する支援について>

問 30 外国人材の雇用について、貴団体が支援している受入企業にとって有益と思われる、行政（国・県・市町）からの支援について改善する事項はありますか。(○は3つまで)

	項目	具体的に記入ください
制 度	1. 外国人材雇用に係る制度の情報提供	
	2. 外国人材雇用に係る手続きの簡素化	
	3. 技能実習制度の改善等（2号移行の対象職種の拡大を含む）	
	4. 特定技能制度の改善等（対象業種の拡大を含む）	
	5. 上記「3」「4」以外の在留資格の受入範囲の拡大や新設	
受 入 実 務	6. 外国人材雇用に関する企業向け相談窓口の設置	
	7. 他事業所の外国人材の活用に関する優良事例の提供	
	8. 外国人材とのマッチングの支援	
	9. 外国人材向けの相談窓口の充実	
	10. 日本語習得教育等の支援	
	11. 社内の受入担当者の育成やノウハウの蓄積に対する支援	
	12. 住まいの確保に対する支援	
	13. 地域社会との交流・共生に向けた支援	
	14. けが・病気の際の受入企業に対する支援	
	15. 災害の際の受入企業に対する支援	
	16. その他	

問 31 外国人材の活用について、ご意見、ご要望、ご提案などがありましたら自由にご記入ください。

<貴団体について>

問 32 貴団体の役割について、お答えください。(○は該当するもの全て)

1. 技能実習制度における 監理団体	2. 特定技能制度における 登録支援機関
---------------------------	-----------------------------

問 33 貴団体の外国人材受入支援の実績（令和元年8月1日現在）について、ご記入ください。
受入実績のある**広島県内の企業**について記入ください。

(業種・所在地は下記コードをご利用ください。同一企業で複数事業所において受入をしている場合は、できるかぎり事業所単位でご記入ください。)

企業/事業所	業種	所在市町	人数	主な送出国（最も人数の多い国を選択してください。)
1.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
2.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
3.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
4.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
5.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
6.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
7.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
8.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
9.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
10.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
11.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
12.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
13.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
14.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()
15.			人	1.ベトナム 2.中国 3.フィリピン 4.その他()

【業種コード】 業種は、外国人材が受入企業において従事している業種をお選びください。

	1. 農業	2. 漁業	3. 建設業	
製 造 業	4. 飲食品製造業	5. 繊維工業	6. プラスチック製品製造業	7. ゴム製品工業
	8. 素形材産業	9. 産業機械製造業	10. 電気電子情報関連産業	11. 自動車関連産業
	12. 造船・船用工業	13. その他製造業		
	14. 卸・小売業	15. 宿泊業	16. 外食業	
	17. 介護	18. その他医療・福祉		
	19. 自動車整備業	20. ビルクリーニング	21. 航空業	22. その他サービス業
	23. その他			

【市町コード】

ア. 広島市	イ. 呉市	ウ. 竹原市	エ. 三原市	オ. 尾道市
カ. 福山市	キ. 府中市	ク. 三次市	ケ. 庄原市	コ. 大竹市
サ. 東広島市	シ. 廿日市市	ス. 安芸高田市	セ. 江田島市	ソ. 府中町
タ. 海田町	チ. 熊野町	ツ. 坂町	テ. 安芸太田町	ト. 北広島町
ナ. 大崎上島町	ニ. 世羅町	ヌ. 神石高原町		

○ 貴団体の職員数について、ご記入ください。

職員数	人	うち、専属	人
-----	---	-------	---

○ 貴団体の事業所について、お答えください。

団 体 名			
所 在 地 (市町名のみ)	広島県	市・町	

○ 最後に、ご記入者様についてお尋ねします。

所 属 ・ 部 署 名			
役 職			
氏 名			
電 話 番 号			
メ ー ル ア ド レ ス	@		

- (1) ご回答いただいた内容については、広島県における外国人材活用に関する施策を検討するための資料としてのみ利用し、それ以外での利用及び第三者への提供は行いません。
- (2) 本調査の結果は、統計的に処理した集計結果のみを公表し、個別の回答内容について一切公表しません。

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。